

長引く症状に 悩まされていませんか？

新型コロナワクチン接種後に後遺症の症状を訴える方が急増しています。
ワクチン接種後からの長期的な体調不良を「ワクチン後遺症」と呼んでいます。
病院で検査しても異常がない、ワクチン後遺症だと診断されない場合もあります。



接種後に体調不良が続く場合は、ワクチン後遺症の可能性を疑いましょう。

【新型コロナワクチン後遺症の代表的な症状】



皮膚疾患・带状疱疹

コロナワクチンが導入されてから、免疫低下により年齢を問わない带状疱疹やその他、皮膚疾患が増えています。

ワクチン後遺症は、軽度なものから重篤なものまで多岐に渡ります。

接種後、数ヶ月～1年以上経過してから発症する可能性もあります。

ワクチン後遺症の情報を知りましょう！

「全国有志医師の会」サイトにワクチン後遺症に関する情報や治療に対応する病院の紹介をしています。

新型コロナワクチン後遺症の情報ページへ



新型コロナワクチン後遺症 患者の会

ワクチン後遺症患者が一丸となり、治療方法が確立されていない現状の改善や社会的補償・治療費の救済等を求めて活動をしている団体です。

新型コロナワクチン後遺症患者の会TOPページへ



行政のワクチン接種記録の保存期間は最低5年です

「予防接種健康被害救済制度」への申請に備えましょう

万が一、ご自身やご家族が発症した時の申請のために書類の保管が必要です。

● **ワクチン接種証明書の保管** ● **必要な書類の保管、体調の変化の記録**

※ワクチン接種証明書を紛失された方はお住まいの自治体で記録保管期間内に再発行の手続きができます。

体調不良の原因がワクチンと疑わしい場合は申請をしましょう



全国有志医師の会

Volunteer Medical Association

新型コロナワクチン接種事業の中止、ワクチン被害者の救済を目指す医師・医療従事者の非営利団体

医師428人・歯科医師174人・獣医師73人・その他の医療従事者809人 合計1484人(2023年5月1日現在)

全国有志医師の会は、新型コロナワクチン接種事業の即時中止を政府に強く求めて活動をしている有志医師及び医療従事者の団体です。海外の医師たちとも連携をとり、ワクチン後遺症の治療法の研究を重ね、後遺症患者の治療にあたりながら、被害者の救済を目指しています。

全国有志医師の会
TOPページへ

